

[illegible]

異動を行ひたり(東京電報)

同國
同領
同部
同縣
同年
同月
同日
同時
同刻
同分
同秒

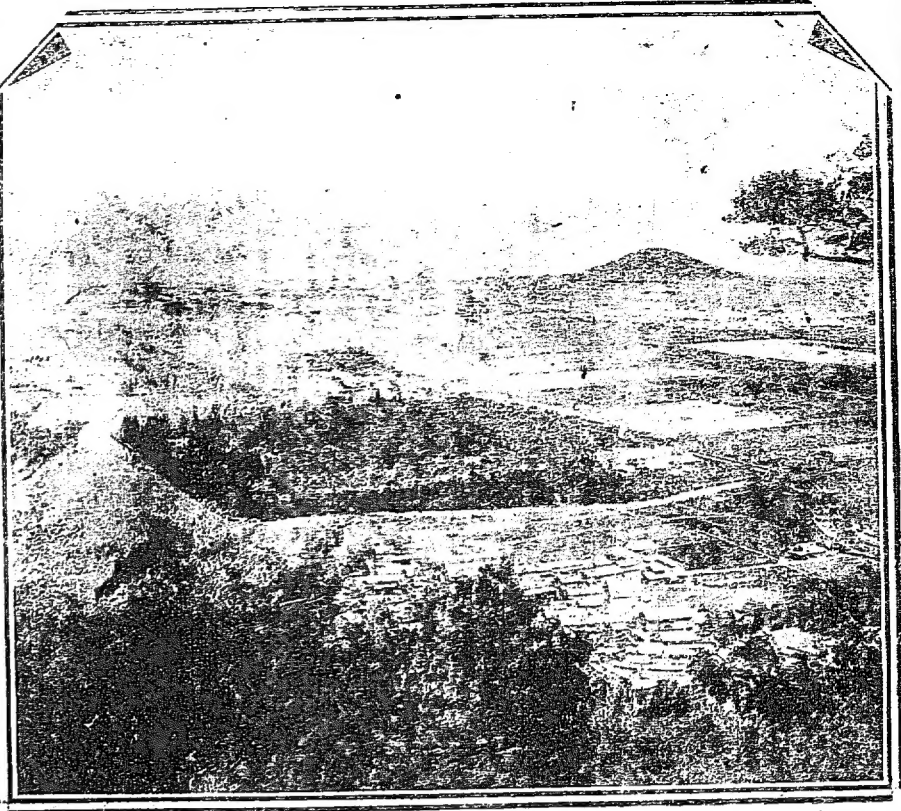
村田氏の監査役は之を辭したるも満
千三百八十六圓計七萬四千八十八圓

に至り新任の挨拶を爲し其より府を訪問する像定なりと

こゝせり尚發起人以外仁川市中の
力家數十名を賛成者とし同社の株

令書未著なるを以て其の内容を知る
 を得ざるも大體に於て變更なきもの
 實生流の諸流行し師匠は鮮南にて三
 名なる武宮舞臺にて之れに熱心者は地

▲稻本龜五郎氏（總督府醫院教官）學術顧問の爲め四月一日東京へ出張



戦蹟記念碑の建設

奉天其他二十箇所の都邑に
戦蹟記念碑の建設
奉天其他二十箇所の都邑に
戦蹟記念碑の建設
奉天其他二十箇所の都邑に
戦蹟記念碑の建設

讓渡三艦の出航

帝國軍艦として最後の告別
讓渡三艦の出航
帝國軍艦として最後の告別
讓渡三艦の出航
帝國軍艦として最後の告別
讓渡三艦の出航

變装せる巡防兵

暴動煽動者數名を逮捕す
變装せる巡防兵
暴動煽動者數名を逮捕す
變装せる巡防兵
暴動煽動者數名を逮捕す
變装せる巡防兵

帆船難破

大暴風に遇ふ
帆船難破
大暴風に遇ふ
帆船難破
大暴風に遇ふ
帆船難破

大連大火

目貫きの中央通
大連大火
目貫きの中央通
大連大火
目貫きの中央通
大連大火

死刑囚の控訴

咸安道署新築公署前
死刑囚の控訴
咸安道署新築公署前
死刑囚の控訴
咸安道署新築公署前
死刑囚の控訴

世を厭う自殺

京畿道南陽府南陽縣
世を厭う自殺
京畿道南陽府南陽縣
世を厭う自殺
京畿道南陽府南陽縣
世を厭う自殺

全北の山火事

去る十五日午前十一時頃
全北の山火事
去る十五日午前十一時頃
全北の山火事
去る十五日午前十一時頃
全北の山火事

軍艦生活

艦内の娯樂機關
軍艦生活
艦内の娯樂機關
軍艦生活
艦内の娯樂機關
軍艦生活

大羽を撲殺す

東北興業株式會社
大羽を撲殺す
東北興業株式會社
大羽を撲殺す
東北興業株式會社
大羽を撲殺す

十八東橋失火

午後六時頃
十八東橋失火
午後六時頃
十八東橋失火
午後六時頃
十八東橋失火

流行の髪形

丸髷と高田髷
流行の髪形
丸髷と高田髷
流行の髪形
丸髷と高田髷
流行の髪形

一般水兵に讀書

軍艦生活
一般水兵に讀書
軍艦生活
一般水兵に讀書
軍艦生活
一般水兵に讀書

入札書畫展

四月二日の開演
入札書畫展
四月二日の開演
入札書畫展
四月二日の開演
入札書畫展

八八は許されて

将校、士官、兵士
八八は許されて
将校、士官、兵士
八八は許されて
将校、士官、兵士
八八は許されて

成功致富の近道は何か

株の買値を決して危険にあらざる
成功致富の近道は何か
株の買値を決して危険にあらざる
成功致富の近道は何か
株の買値を決して危険にあらざる
成功致富の近道は何か



成功致富の近道は何か
株の買値を決して危険にあらざる
成功致富の近道は何か
株の買値を決して危険にあらざる
成功致富の近道は何か
株の買値を決して危険にあらざる

成功致富の近道は何か
株の買値を決して危険にあらざる
成功致富の近道は何か
株の買値を決して危険にあらざる
成功致富の近道は何か
株の買値を決して危険にあらざる

益を増進する所以なる也。

普通（一）（明治三十二年四月一日施行）
 附名一區（附）
 氏民 ▲前學期分の御不用の
 教科書類品價買入
 町二第 二五七ツボヤ書店
 入用 年給仕職前後の者市内
 用 保壽人を要す
 電話一〇二二 下駄賣場 7
 廿五歳より廿五歳以上の
 教育者入用希望者は來電
 前地物館入用金持店電話九
 新入用年十五歳より四

年筆修理應
 寄外(一)和蘭金十枚(無印)
 品標紙上付無比高價買入55
 京本町書堂
 地方即贈送金 560
 御報即時委上
 二四二五兩并計店

[illegible]

山也電話一四六八號
 自前
 森川雜貨店
 專賣保險保人三名
 有外國貨物
 花柳病外科專門
 生堂醫院
 地址京都府大田區（農工銀行對面）
 電話四三二
 病梅毒妙藥
 救世藥箱
 地址大田區三軒
 電話二五九〇
 治瘰癧
 電話一四八

肺門專 病區 呼吸器 科 山田醫院 電話二八八〇番	肺二等門元中島病院 (入院隨付) 574	肺病 須古醫院 電話二二〇三番 551
--	----------------------------	------------------------------

[illegible]

奉天軍強更

る主戰論を致し且病氣を名として
月の喝暇を請へり段將軍の主戰論

二時頃忠南公州郡寺谷面九溪
嶺秀と山火し折柄の烈風に

里任 功城 面玉山 洞飲 食店 營業 金鍾 職
(註)は三月一日午後六時開演同演飲食

二日夜酒氣を帯び同里酒幕李澤仁
に至り同家に宿泊中の李處仁なる

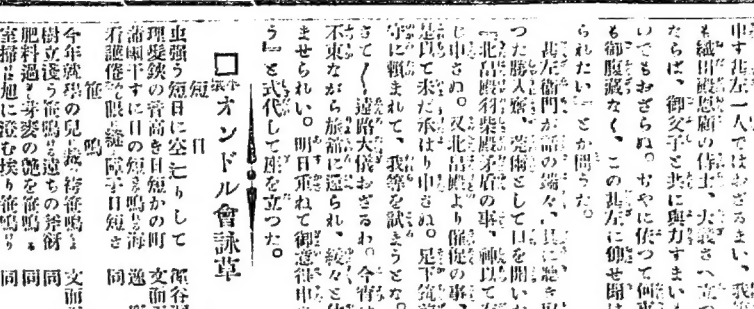
須藤南翠作

須藤南翠作
筒井年峰

儀におどるやうに「さらば、世上に汚染する如く、北の諸殿へ三人衆を遣して、羽衣殿計たるいとか」

之則がさす突き込むと、其左衛門は其に答へんとせし

「和伊殿、北出殿の御姿を以て、羽衣殿と此生を争はんことは、思へども容れぬ事おどる。彼殿かゝる事を思召したるには、丹侍殿なり、油田殿なり御勘弁なされど、さは何人々推我せず處ござらざる。然るに丹侍殿は我こそ二男よし、

[illegible]

進化論

つらい悲しい
見逃しならぬ
女も男も見逃
婦人薬界の
一口に
身について何れもつらい悲しい幸
て、此の病あるばかりに訓誨が家庭
が作れず、一日に二三日は
置いて置けて居るもの、女病

に世間には疑がらざる由置れてゐるが、實に婦人病は子供の出来、胎前、産後となつて、一家子孫の繁栄を妨ける計りてなく、女としてあらざる一切の幸福を奪ひ去つて了ふと云ふ女にまつては誠に恐ろしき災難はしき病である。現今史云ふところありませぬ左様に私は之を「女の不幸病」と申したのでございませう。所で私は此女の不幸病をさう申すは、祖の遺言に「宮中の病に就ては随分と實地に苦勞した事もありましてドウカカ病にして、此病に効めの著しい薬を製

増したものの種々を研究せしめた結果、之れならばキツト列の候補である、キツト世間の御婦人諸君が喜びになるであらうと確信し得られる薬増が漸く出来上りましたので、之をヒホーと名けて是に世の中へ發表しました所が急に逢はす効めが著しいと云ふ大評判を受けまして、御婦人利

召上る方は一日増に随えるばかりで
す、然し婦人病の薬にせよサレ根
り出し難い煎薬だと昔から随分と
澤山ありまして、御婦人病者はドレ
でせうから私は此ビホを二日分
だけ下ナタにでも無代で送し醫院の
初めを請て貰いたいと存じます、
左れば此の病氣の爲め悲し
い月日を送り給ふ方は
すまでもなく

いつも月經が早くなつたり遅れ
たり不素ねはあるこしげが下
り月經時に下腹痛、下腹筋痛
東京九段方九十三 電話番町
電車停留場前 二八八二

無代で送呈

製材機械原動機
其他一切付丸鋸其
賃貸及制安賣却
鑛山機械專門製
スバルコトアルベシ
新嘉坡及馬六甲
怡保及檳榔嶼
吉隆坡及芙蓉
馬六甲及麻坡
峇株巴轄及居鑾
昔加末及淡邊
馬六甲及麻坡
峇株巴轄及居鑾
昔加末及淡邊



赤毛
白毛
漆君の代



根商

本邦産の漆、二十分間、速く、乾く、を、面、に、塗、り、て、使、う、と、な、る、は、本、邦、産、の、漆、の、特、長、也、

方、一、層、を、塗、り、一、度、乾、か、し、を、二、層、に、塗、り、て、使、う、と、な、る、は、本、邦、産、の、漆、の、特、長、也、

定、額、特、約、二、十、三、十、銭、也、

本、邦、産、の、漆、の、特、長、也、

本、邦、産、の、漆、の、特、長、也、

本、邦、産、の、漆、の、特、長、也、

松材販賣廣告

一李王職花山森林

拂下松

根商

根商

効か
日であ
重くも
は流り
代で差
効く
あるか
は婦人
すから
身の爲
一日も
なられ

蔵ぞう

カインゼルの裏面クレベインの標記
女探 知徳義三郎
唱歌の作りやう 加藤武吉
書家の 友 齋 露 露 露
金泉のうらこじ司 小泉
安易生活と食物の活用 山田徳次郎
女學校出の花嫁さん 朝比見芳夫
女は滑稽である 明元 北沢
伊太利から英國へ 本村久壽一
珠玉 砂 松本 蒼梧
珠蘭連環の哲學 大杉 榮
哲學と文藝 森田 實
櫻村生活三十年 荏原 憲
李少南書帖金圭 曲 三

大阪屋號書

電話二〇八六 振替東京二五

朝鮮總督府府尹
附條例第一號
二年京城府
附條例第二號

ラブリッシュ
内外各種
製造
東京
品
三

石灰 肥料用 建築用 工業用 農業用 道路用 一式 店
 王 覇 灰 石 肥料用 建築用 工業用 農業用 道路用 一式 店
 安くて、うまい
 ハイカラ
 カフ エタイガ
 西春向半襟 品揃
 造花材料

[illegible][illegible]
